

(様式：自己点検・評価報告書)

**令和 年度**

**専門職大学「経営情報ビジネス分野」認証評価**

**自己点検・評価報告書 (様式)**

**令和 年 月 日**

**専門職大学名称**

## 自己点検・評価報告書を作成する際の注意事項

### I はじめに

- 専門職大学「経営情報ビジネス分野」の認証評価であることを踏まえて、当該分野における教育研究活動の展開について総括的に記述すること。
- 記述については自己点検・評価報告書作成要領を参照して作成すること。
- 教育研究活動の実施に関する責任者の全面的な関与のもとに記述すること。

### II 大項目、中項目毎の点検・評価

#### <現状の説明>

- 専門職大学「経営情報ビジネス分野」認証評価基準（資料1）の「基準」の「本文」を踏まえて基準の趣旨を理解した上で、各「評価の視点」に沿って、自己点検・評価の結果を中項目ごとに記載すること。
- 各基準に沿って、当該専門職大学の「経営情報ビジネス分野」としての取組内容を評価委員が具体的に把握できることが重要で、そのため、抽象的な記述を避け、客観的な事実に基づき、具体的に記述すること。
- 記述内容の必要に応じて、現在に至る経緯や推移など、論拠を明確にするため可能な限り客観的なデータ（数値）を記載すること。なお、基礎データの数値を用いる場合、その数値と齟齬がないように注意すること。

#### <根拠資料>

- 現状の記述の根拠となる資料・データ等は、中項目ごとの参照資料欄に資料名を記すこと。当該参照資料は、資料番号を付し、自己点検・報告書とは別に「参照資料集」として提出すること。
- ※様式記載の資料は、参考例であること。

#### <大項目毎の点検・評価>

##### （1）長所と問題点

- 大項目ごとに、自己点検・評価の結果、明らかになった長所及び改善点について具体的に記述すること。その際<現状の説明>と記述内容が重複してもかまわない。

##### （2）長所の伸長・問題点の改善に向けた方策

- 長所をさらに伸ばすための方策及び問題点を解決するための方策について記述すること。
- 抽象的な表現や単なる決意の表明に終わることなく、改善に向けた手順について、役割分担や実施スケジュール等について自己点検・評価のスケジュールとの関係性などを整理し、組織的な取組として具体的に記述すること。

### III まとめ

- 自己点検・評価を行った結果、当該専門職大学の「経営情報ビジネス分野」としての今後の展望と、取組むべき課題等について総括的に記述すること。
- その際中項目ごとの自己点検・評価等の記述と重複してもかまわない。
- 教育研究活動の実施に関する責任者の全面的な関与のもとに記述すること。

## I はじめに

○当該専門職大学「経営情報ビジネス分野」の進むべき方向性、求める成果について、中長期計画等に基づき教育研究活動の実施、改善・向上に向けた活動内容・成果などの全体像についての記述。

## Ⅱ 大項目、中項目毎の自己点検・評価

### 基準 1 使命・目的

中項目	評価の視点	
1 目的の設定	1-1-1	当該専門職大学が担う、高等教育機関における役割及び教育理念等を踏まえ、経営情報ビジネス分野としての目的を明確に設定していること。
	1-1-2	設定している目的は、専門職大学設置基準等の関係法令に適合し、制度上の目的に適ったもので、かつ経営情報ビジネス分野で養成する人材像を明確にするとともに設置する学部の目的等との関連性も明確にしていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)

中項目	評価の視点	
2 目的を実現するための実効性のある中長期計画の策定	1-2-1	当該専門職大学が策定している中長期計画に、経営情報ビジネス分野の目的を実現するための実効性のある具体的な内容が位置付けられていること。
	1-2-2	中長期計画は単年度計画及び財務基盤の安定、組織管理等との整合性が図られ、適切に実行していること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-4 : 「〇〇専門職大学中長期計画」
- ・ 参照資料 1-5 : 「設置法人財政計画・財務分析結果」
- ・ 参照資料 1-6 : 「〇〇専門職大学単年度（3 か年）計画」

中項目	評価の視点	
3 使命・目的の 検証・改善等	1-3-1	社会等の変化に応じた使命・目的の的確性について、適宜、 検証し、必要な見直しを行っていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)

## 基準1 使命・目的の現状に対する自己点検・評価

### (1) 長所と問題点

### 2) 長所の伸長・問題点の改善に向けた方策

#### <根拠資料>

- ・ 参照資料 1-4 : 「〇〇専門職大学中長期計画」
- ・ 参照資料 1-5 : 「設置法人財政計画・財務分析結果」
- ・ 参照資料 1-6 : 「〇〇専門職大学単年度(3か年)計画」
- ・ 参照資料 : 大学における「自己点検・評価報告書」

## 基準2 教育課程、教育方法、学習成果

中項目	評価の視点	
1 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針	2-1-1	当該専門職大学が定める教育理念及び経営情報ビジネス分野の養成人材像並びに目的に即し、かつ、学習成果を明確に示した学位授与方針を策定していること。 また、学位授与方針に基づいて教育課程の編成・実施方針を定め、教育内容及び方法等の妥当性を学生等に対して明確に説明していること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「学生便覧」

中項目	評価の視点	
2 教育課程の編成と授業科目・授業方法	2-2-1	<p>期待する学習成果を達成し、当該専門職大学の経営情報ビジネス分野の目的を実現するために、学位授与方針を踏まえた教育課程の編成・実施方針に基づき、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。</p> <p>また、経営情報ビジネス分野において産業界及び地域社会との連携による教育課程・実施のため、教育課程連携協議会を設置していること。</p> <p>さらに、教育課程は、専門職大学教育共通の目標である、理論と実践を架橋する教育を実施するために必要となる下記の要件を踏まえたものになっていること。</p> <p>(1) 経営情報ビジネス分野において専門性が求められる職業を担うために必要な知識・スキルとして、経営管理、マーケティング、会計等経営学の領域及びシステム開発、プログラミング、ネットワーク管理等の情報通信技術の領域に加えて、国際コミュニケーション能力等について修得させる授業科目を配置していること。また、豊かな人間性や進展する情報化社会など社会環境の変化に応じた職業倫理を涵養するために授業科目を段階的・順次的に配置していること。</p> <p>(2) 授業科目の開発、教育課程の編成、見直しにあたっては、教育課程連携協議会の意見を勘案するとともに適切な体制を整備の上、行っていること。</p> <p>(3) 教育課程は、産業界等と緊密に連携した実践的な職業教育により、質の高い専門職業人材を育成するため次の4つの授業科目群で編成されていること。</p> <p>○基礎科目：生涯にわたり自らの資質の向上と、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するための授業科目。</p> <p>○職業専門科目：経営情報ビジネス分野に係る職業において必要とされる理論的、かつ実践的な能力及び当該職業分野全般にわたり必要な能力を育成するための授業科目。</p> <p>○展開科目：経営情報ビジネス分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成するための授業科目。</p> <p>○総合科目：修得した知識及び技能等を総合し、専門性が求められる経営情報ビジネス分野の職業を担うための実践的かつ応用的な能力を総合的に向上させるための授業科目。</p> <p>(4) 教育課程の実験・実習又は実技による授業科目のうち</p>

		臨地実務実習等は、20 単位以上で、かつ専門職大学等の臨地実務実習の手引きを参考に行う企業等での実習等（連携実務演習等を含む。）が実施されていること。
--	--	---

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「学生便覧」
- ・ 参照資料 : 「シラバス」
- ・ 参照資料 : 「実習要綱」

中項目	評価の視点	
3 教育の実施	2-3-1	学生に期待する学習成果を踏まえ、適切な授業形態（講義、演習、実習等）、方法（実践力育成のためのケーススタディ、フィールドワーク等）及び教材が用いられていること。また、臨地実務実習の実施や実践力育成のための授業実施にあたっては、当該職業分野の企業及びその他組織との間で科目の到達目標等を共有し、必要な協働・連携するなど教育上の創意工夫を行っていること。
	2-3-2	1つの授業科目について同時に授業を行う学生数は、原則として40人以下としていること。また、授業時間帯や時間割は、学生の履修に配慮したものであること。
	2-3-3	下記のような取組みによって、それらが相互に効果を発揮して学生の円滑な学習につなげていること。 ・シラバスの作成と活用による学習成果の向上の取組 ・履修指導、予習・復習等に係る相談・支援の取組

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・参照資料 1-1：「〇〇専門職大学学則」（第〇条）
- ・参照資料 1-2：「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」（〇～〇頁）
- ・参照資料 1-3：〇〇専門職大学ホームページ（<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>）
- ・参照資料       ：「学生便覧」
- ・参照資料       ：「シラバス」
- ・参照資料       ：「実習要綱」

中項目	評価の視点	
4 学習成果	2-4-1	授業科目の内容、形態に応じ、それぞれの目標の達成度を測るのにふさわしい方法・基準を設定し、これをあらかじめ、シラバス等で学生に明示した上で、学生の学習に係る評価を公正かつ厳格に行っていること。
	2-4-2	成績評価の公正性・厳格性を担保するために、学生からの成績評価に関する問合せ等に対応するしくみを整備し、かつ学生に対して明示していること。また、そのしくみを適切に運用していること。
	2-4-3	あらかじめ学生に明示した基準及び方法によって卒業認定をし、学位授与方針に定めた学習成果を達成した学生に対して適切に学位を授与していること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「学則施行規則、規程」
- ・ 参照資料 : 「実習指導要領」

中項目	評価の視点	
5 教育課程、教育方法、学習成果の検証・改善等	2-5-1	学生の学習成果、卒業生の進路・キャリア形成状況等を踏まえ、当該専門職大学の経営情報ビジネス分野における教育課程、教育方法、学習成果を検証し、必要に応じ、改善・向上策を図っていること。
	2-5-2	経営情報ビジネス分野の教育課程、教育方法、学習成果を検証し、教育課程及びその内容、方法の改善・向上を図るにあたっては、卒業生、実習先・就職先など関連する企業及びその他組織の意見や在学生の意見を勘案するなど、多角的、継続的な視点に立つ工夫をしていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「卒業生の進路資料」
- ・ 参照資料 : 「学習成果の分析」
- ・ 参照資料 : 「学内関係会議議事録」

## 基準2 教育課程、教育方法、学習成果の現状に対する自己点検・評価

### (1) 長所と問題点

### (2) 長所の伸長・問題点の改善に向けた方策

#### <根拠資料>

- ・ 参照資料 1-4 : 「〇〇専門職大学中長期計画」
- ・ 参照資料 1-5 : 「設置法人財政計画・財務分析結果」
- ・ 参照資料 1-6 : 「〇〇専門職大学単年度（3か年）計画」
- ・ 参照資料       : 「自己点検・評価報告書」
- ・ 参照資料       : 「学内会議議事録」

### 基準3 学生の受入れ・支援

中項目	評価の視点	
1 学生の受入れ	3-1-1	経営情報ビジネス分野の学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえて学生の受入れ方針を定め、求める学生像や入学者に求める水準等の判定方法等を明確にしていること。
	3-1-2	選抜方法及び手続をあらかじめ公表した上で、所定の選抜基準及び体制の下で適切かつ公正に入学者を選抜していること。
	3-1-3	入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理していること。

#### <現状の説明>

#### <根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「学生募集要項」
- ・ 参照資料 : 「入試関係規程」
- ・ 参照資料 : 「学校基本調査結果」

中項目	評価の視点	
2 学生支援	3-2-1	学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学生支援に関する方針を明示していること。
	3-2-2	学生支援に関する方針に基づき、組織体制を整備し、機能させていること。
	3-2-3	適切な体制で障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。
	3-2-4	適切な体制で卒業後の進路・キャリア形成に関する相談・支援が行われていること。
	3-2-5	適切な体制で在学生の課外活動等に対する必要な支援を行っていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「学生便覧」
- ・ 参照資料 : 「相談室案内」「相談実績」
- ・ 参照資料 : 「進路・キャリア相談体制、実績」「留学生相談体制、実績」

中項目	評価の視点	
3 学生の受入れ、学生支援の検証・改善等	3-3-1	学生の受入れ、学生支援の事項毎の効果等を確認し、改善を図っていること。学生支援については、学生等の意見を反映するしくみがあること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 添付資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「学生アンケート結果」

## 基準3 学生の受入れ・支援の現状に対する自己点検・評価

### (1) 長所と問題点

### (2) 長所の伸長・問題点の改善に向けた方策

#### <根拠資料>

- ・ 参照資料 1-4 : 「〇〇専門職大学中長期計画」
- ・ 参照資料 1-5 : 「設置法人財政計画・財務分析結果」
- ・ 参照資料 1-6 : 「〇〇専門職大学単年度（3 か年）計画」
- ・ 参照資料       : 「自己点検・評価報告書」
- ・ 参照資料       : 「学内会議議事録」

#### 4 教育研究実施組織等

中項目	評価の視点	
1 教員及び事務職員等の組織編制方針等	4-1-1	当該専門職大学の経営情報ビジネス分野における教育研究上の目的を達成するため、教育研究活動を推進する上で必要となる、教員及び事務職員等の組織編制方針を定めていること。また、教育研究の実施にあたり、教員及び事務職員等の適切な役割分担の下で、連携体制を確保するとともに責任体制を明確にしていること。
	4-1-2	当該専門職大学の経営情報ビジネス分野における使命・目的等を共有し、達成に向けた協働意欲を醸成するために、教職員組織等の円滑な運営と改善向上に向けた取組を行っていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「組織規程」「学内組織図」「教職員名簿」

中項目	評価の視点	
2 教員及び事務職員等の配置	4-2-1	法令上の基準を遵守し、固有の目的を実現し、理論と実践を架橋する教育を十分に実施できるだけの基幹教員を配置していること。 ※専任教員制をとる大学は、「基幹教員」を「専任教員」と読み替える。(以下同)
	4-2-2	教育課程の教育上主要と認める授業科目については、原則として、基幹教員の教授又は准教授を配置していること。 ※ただし主要科目を担当する教員配置についての考え方を明確にすること。
	4-2-3	基幹教員の構成は、特定の年齢層に著しく偏らないものであるとともに、当該専門職大学の分野の特性を踏まえつつ、多様性を考慮していること。
	4-2-4	事務体制を整備し、事務職員等を適切に配置していること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「組織規程」「学内組織図」「教職員名簿」
- ・ 参照資料 : 「教務規程」「事務局規程」

中項目	評価の視点	
3 教職員の募集・採用・解職・昇格	4-3-1	教員の募集、採用・解職及び昇格等について、理論と実践を架橋する教育を行うにふさわしい能力・実績を審査するための適切な基準及び手続を定め、それらに基づき公正に実施していること。
	4-3-2	事務職員等の募集、採用・解職及び昇格等について、携わる職務にふさわしい能力・実績を審査するための適切な基準及び手続を定め、それらに基づき公正に実施していること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「教職員募集関係」
- ・ 参照資料 : 「採用・解職及び昇格等に関する規程」「人事規程」
- ・ 参照資料 : 「就業規則」「人事考課規程」

中項目	評価の視点	
4 教職員の資質向上等	4-4-1	教職員の資質向上を図るために、組織的な研修等を実施していること。その際、教育及び専門領域の実務に関する知見の充実、教育上の指導能力及び大学教職員に求められる職能に関する理解の向上に努めていること。
	4-4-2	当該専門職大学の教育に資する研究のあり方を明らかにし、組織的な支援によって、専門分野の学術的研究、企業その他組織のマネジメントに関する知識の充実及び刷新を伴う実務に基づく研究に継続的に取り組むよう促していること。
	4-4-3	教員の教育活動、研究活動、組織運営、社会との関係の形成・社会貢献、行政や産業界との関わり等について、適切に評価していること。
	4-4-4	教員の教育研究活動に対し、適切な条件設定（授業担当時間の適正な設定、研究専念期間等の保障、研究費の支給等）、環境整備（研究室の整備等）及び人的支援（TA等）を行っていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「研修計画」「研修実績」「研修規程」

## 基準4 教育研究実施組織等の現状に対する自己点検・評価

### (1) 長所と問題点

### (2) 長所の伸長・問題点の改善に向けた方策

#### <根拠資料>

- ・ 参照資料 1-4 : 「〇〇専門職大学中長期計画」
- ・ 参照資料 1-5 : 「設置法人財政計画・財務分析結果」
- ・ 参照資料 1-6 : 「〇〇専門職大学単年度(3か年)計画」
- ・ 参照資料 : 「自己点検・評価報告書」
- ・ 参照資料 : 「学内会議議事録」

## 基準5 教育環境の整備、社会との関係

中項目	評価の視点	
1 教育環境の整備	5-1-1	経営情報ビジネス分野の教育課程を実施する上でふさわしい教室、その他必要な施設を設け、かつそれらは、適切な学生数で利用されていること。
	5-1-2	学生の自主的な学習を支援し、学習効果の向上を図るため、自習室、学生相互の交流のためのラウンジ等を設けていること。
	5-1-3	図書館には、学習及び教育研究活動に必要なかつ十分な図書等を備え、かつ利用時間その他の利用環境は、学習及び教育活動を支えるものとして十分であること。
	5-1-4	学習及び教育活動に必要なかつ十分な設備（情報インフラストラクチャーを含む）を整備し、活用していること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇～〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「施設、設備一覧」
- ・ 参照資料 : 「教育備品等一覧」
- ・ 参照資料 : 「図書一覧」「図書室組織体制、規程」
- ・ 参照資料 : 「補修、整備等計画」

中項目	評価の視点	
2 施設、設備の 検証・改善等	5-2-1	経営情報ビジネス分野の教育課程等を実施する施設、設備として適切であるかについて適宜点検し、改修、改善等を行っていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・ 参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・ 参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会議事録」(〇~〇頁)
- ・ 参照資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)
- ・ 参照資料 : 「施設、設備一覧」
- ・ 参照資料 : 「教育備品等一覧」
- ・ 参照資料 : 「図書一覧」「図書室組織体制、規程」
- ・ 参照資料 : 「補修、整備等計画」

中項目	評価の視点	
3 社会との関係、情報の公表	5-3-1	教育課程連携協議会からの意見を反映するなど、社会からの意見を当該専門職大学の運営やその改善・向上において勘案していること。
	5-3-2	当該専門職大学の運営と諸活動の状況、自己点検・評価の結果及び改善状況について情報を公表し、説明責任を果たしていること。また、その使命・目的や活動状況について産業界等をはじめ、社会からの理解を得るよう取り組んでいること。
	5-3-3	教育課程の編成や実習など企業やその他組織との協働・連携等を積極的、継続的に推進していること。他組織と協定、契約等を結んでいる場合は、その決定・承認が適正な手続でなされ、また、資金の授受・管理等を適切に行っていること。

<現状の説明>

<根拠資料>

- ・参照資料 1-1 : 「〇〇専門職大学学則」(第〇条)
- ・参照資料 1-2 : 「〇〇専門職大学教育課程連絡協議会名簿・議事録」(〇～〇頁)
- ・添付資料 1-3 : 〇〇専門職大学ホームページ (<http://www.xxx.ac.jp/xxxx>)

## 基準5 教育環境の整備、社会との関係の現状に対する自己点検・評価

### (1) 長所と問題点

### (2) 長所の伸長・問題点の改善に向けた方策

#### <根拠資料>

- ・ 参照資料 1-4 : 「〇〇専門職大学中長期計画」
- ・ 参照資料 1-5 : 「設置法人財政計画・財務分析結果」
- ・ 参照資料 1-6 : 「〇〇専門職大学単年度（3 か年）計画」
- ・ 参照資料       : 「自己点検・評価報告書」
- ・ 参照資料       : 「学内会議議事録」

### Ⅲ まとめ

(1) 自己点検・評価の総括

(2) 今後の展望・課題

(3) 自己点検・評価を基本とする改善・向上に向けた取組